

ビザ申請に必要な書類

- 面接アポイントメント書類：アメリカ大使館ホームページでスケジュール調整した結果（面接日時が記載）
 - パスポート
 - DS-156：アメリカ大使館ホームページにおいて必要事項をオンライン入力し，プリントアウト（片面）したもの
 - カラー写真：面接アポイントメント書類を印刷すると写真の注意事項が記載されている．それによると顔の大きさや目の高さなどが細かく規定されているので，プロに頼んだ方がよい．ただし，店によってはパスポート写真は扱ったことがあるが，ビザ用写真は扱ったことがないという場合もあるので，経験を確認してから依頼した方がよい．
 - 申請料金支払書：ホームページから申請料 \$ 100 の払い込み．収納機関番号，お客様番号，確認番号が印刷される．実際は，先の3つの番号による郵便局や金融機関からの Pay-easy（ペイジー）による支払い
 - ATM 払い込み利用明細：ペイジーによる支払いの際の ATM の利用明細
 - DS-157：ホームページから PDF ファイルをダウンロードし，必要内容を記入する
 - DS-158：ホームページから PDF ファイルをダウンロードし，必要内容を記入する
 - DS-2019：受け入れ先から入手する．プログラム番号や SEVIS（バーコード）番号が SEVIS 費支払いの際に必要な．パスポートのコピー，雇用証明，財務証明，履歴書，リクエストフォームなどを揃えて申請する．互いに郵送によるやりとりになるため，日数がかかる．
 - 研修プラン：大使館のホームページには研修プランの詳しい説明があるとよいとあるが，一般的には必要書類に入っていない．提出しても返却される．
 - SEVIS I-901 費支払い確認書：ホームページよりカードを使って支払い，その確認書を印刷する
 - 財務証明：所属機関に書いてもらう．金額はドル建てで．
-
- ✓ なお，DS-156,157,158 に関する書き方はホームページにあり．
 - ✓ Acrobat（リーダーではない）があれば，タイプライター機能を使って PDF ファイルに直接書き込むことが可能